

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK

NO. 11

BOOK は図書館のワクワクを皆さんにお伝えるメディアです。皆さんが図書館に感じるワクワクも教えて下さい。知らない人に教えてあげましょう。

2013年12月20日発行 / 隔月刊
発行 & 編集 = 山形村図書館



図書館は
笑劇場?

図書館で日々繰広げられる

子ども達の会話……。

子供達も大人達の日常を良く見てる。

それが、子供達の会話に現れると

ニョーに可笑しい。

司書モモセ、ナイス突っ込み！

図書館はやっぱり楽しいね

……フーフ 縁の下の力持ちが
いっげいっげいしてるのです。

10月 中学生の職場体験

今年も意欲あふれる中学生3人が、職場体験に来てくれました。
カウンター業務、「おはなしの会こぐま」の読み聞かせ、ブックカバーかけやレファレンス。図書館らしい仕事に生懸命取り組むすがた、さわやかでした。



一生懸命やっています！中学生の職場体験。

若い力をみこんで、文化祭の

リサイクルブックの準備もしてもらいました。カウンター業務からは想像もつかなかったバックヤードの仕事です。コンテナに入った500冊もの重い本に、内心目も白黒させながら（たぶん）テキパキと運び出してくれました。ありがとね。

11月 文化祭

今年も2日、3日の二日間、リサイクルブックと「絵本のカバーでパズづくり」で、大にぎわいの図書館でした。

「本のお医者さん」コーナーにはお気に入りの本が持ち込まれ、図書館を愛する会の鈴木さんの手によって、みごとに再生されました。こん



子ども達は自分にぴったりの絵柄を見つけバック作り。

なに愛される本つてステキだなあ。

11月 ナイトライブラリー

今年も3夜にわたって、「オールド・ストーリー」「アドベンチャー」「ピネスのテーマで「おはなしの会」のみなさんによる語りや読み聞かせを楽しみました。

「アドベンチャー・ナイト」では教育委員会の竹内さんと山形村保育園の座間先生という若きメンズの登場に、大きな歓声があがりました。

心に残る詩

須永恵次 選 図書館を愛する会

震えるほどに共感出来る詩、あなたの背中をそっと後押ししてくれる詩との出会いは、きっとあなたを幸せにしてくれる。そんな詩を求めて……。

十二月はクリスマス月。英国の「マザー・グース」からクリスマスガスマの詩をお届けします。「マザー・グース」はなぞなぞ、尻取り歌、早口ことば等からなり、何世代も親から子へと伝承されてきたわらべ唄を集めたものです。翻訳は色々出版されていますが、歌われることを念頭に翻訳されている、詩人北原白秋の「まさあ・ぐうす」を選びました。

「クリスマスがきますわい、」

北原白秋 訳

右や左や、クリスマス。

がちょうりがふとつてめえりやす。

どうぞやペンナイ、

じいめが帽子に

ほうりこんでください。

ペンナイがおひやなら

半ペンナイでもよろいごさる。

半ペンナイでもないならば、

ごきげんよろしゅうり、だんなさま。

きまぐれ不定期連載●図書館の風景……②

小さなお客さんたち

I「うちのおかあつて、日本代表の長谷部がすきなんだよ」

モ「そうなんだ。Iちゃんは？」

I「えんどう」

I「ガンバ大阪のこの間来たじゃん。観に行つた？」

モ「行かない！チケットとれねえよ。しかも稲ぎざだし！」

「ありがとう。また来てね」と送り出そうとしたら、

I「ちょっとつらいでくわー！」

「難しいことは知ってるねえ……」

(Mちゃん 6才)

(稲ぎざ、さすが山形っ子)

「おおきくおおきくおおきくなあれ」の紙芝居を手に「これ、なつかしいね〜」

「むかしね……」

とか「小さいころね……」とも言うらしい

(あなたいくつよ!!)

(Aちゃん 4才)

不安顔のAちゃん。母は本を物色中。



I「こんにちは。本かえします。」

ついでに借りてく

(Yちゃん 5才)

つ、ついでですか

(……)

A「マド……」と

ラクガキ屋M……(イラストレーター 村内在住)

よいお年を……E

「Aちゃん、おばちゃんか帰るか」なんてからかう大人に、ますます不安が募り涙目。やつと母を見つけて「マに会いたかつた〜」

(Aちゃん 3才)

(……)

村図書館の小さなお客さんたちは、いつも私をほのぼのとさせてくれます。

「ほつとたいむ」

……

(Aちゃん 3才)

(……)

「海賊とよばれた男」上・下」百田尚樹著 / 講談社

私のこの一冊

須山ケサ子 図書館利用者



「海賊とよばれた男」上・下」百田尚樹著 / 講談社

敗戦により何もかも失った日本で、この会社は、社員をひとりも解雇しませんでした。

「海賊とよばれた」つて、いったいどんな人？と興味を持ち、手にした冊でした。「日本が戦争に負けた」ところから始まる、出光興産の創業者をモデルにした、歴史経済小説でした。

でした。どんな仕事でも楽しくやって、本業で成功をおさめました。社員を財産と思ひ信頼する社長、会社の儲けより、人のために尽くすのだという信念。使い捨てが当たり前の今の日本を、働く喜びの持てる社会にすべきだと、私の心を奮い立たせてくれました。

10.11月の貸出ベスト10

- 1位 子育てが終わらない／小島貴子
- 2位 ホテル・ローヤル／桜木紫乃
- 3位 わたしをみつけて／中脇初枝
- 4位 いつも彼らはどこかに／小川洋子
- 5位 駅物語／朱野帰子
- 6位 かくて老兵は消えてゆく／益田ミリ
- 7位 折りの幕が下りる時／東野圭吾
- 8位 探偵法間ごますり事件簿／東直己
- 9位 日本人の知らない日本語4／蛇蔵
- 10位 身軽に暮らす／石川理恵

耳よきな話

『郷土山形』のコーナー充実の7ヶ

「水田農業経営確立推進指導事業補助金」という補助金をいただきました。このごろ話題になっている米粉、山形村特産のそば、その他の粉ものや、広く農業関係の本も充実させました。

漢字だらけの補助金ですが、きたい本からやわらかい本まで、バラエティゆたかに取りそろえております。ご利用ください。

編集&文：百瀬恵津子／
石川弘美／保坂一彦
デザイン：森の中のデザイン室

おねえさん、おすすめ新着本



荒川弘「銀の匙」
かたーい名称の補助金で、こんなやこい本を入れてみました。農業ファンが増えると思います。



「牛をかぶったカメラマン」
レベッカ・ポンド
情熱的なカメラマン兄弟。野鳥を驚かせないためなら、牛にだって扮そっします。



「反対語・対照語事典」
高村忠範
「かたい」の反対を「いるか」と言ったのはだれ?言葉を知る手助けをしてくれま。



「和菓子のこよみ十二月」
平野恵理子
和菓子には四季が凝縮されています。季節感のある和菓子で、ぐるりと年めぐります。



「身近な雑草の愉快な生きかた」
稲垣栄洋
私「さっそう」ではありません。名前があります。個性的でユニークな暮らし方が魅力です。



「かんたん、かわいいナチュラルラッピング」
宮岡宏金
贈り物の季節が続きます。品物と一緒にハートを包む方法を紹介しますよ。

図書館からお知らせ

① 年末年始のお休み

12月28日(土)から1月3日(金)までお休みになります。みなさまよいお年をお迎えください。

4日(土)にお待ちしています。

② 絵本作り講座のお知らせ

昨年好評だった手作り絵本講座を、今回は夜の図書館で行います。お仕事帰りのみなさんもお待ちしています。

1. 2月の夜、3日間を予定しています。

日程が決まり次第、お知らせします。お楽しみに。